

新型焼却炉 実演に手応え

NEW環境展でPR

DAITO

焼却炉メーカー、DAITO(本社=愛知県瀬戸市、井上滋樹社長)は、12日から15日まで東京都江東区の東京ビッグサイトで開催された「2019 NEW環境展」に出展し、新型焼却炉の実演なども行った。台湾から訪

環境展に出展し注目を集めた



れた訪問者は「プラスチックを燃やしても煙が出ない」と舌を上げ、高度な環境対応技術に驚きの表情を見せた。今回は廃プラスチック対応焼却炉「SPZ」と万能用焼却炉「SPⅡ」の実機をそれぞれ展示。従来機よりも燃焼用エアアの最適化

と、消煙・集じん能力の大幅改善を施している。

期間中には現地で木材やプラスチックなどを実際に燃やして見せ、高度な環境対応能力をアピール。来場者は足を止めて実演を熱心に見学し、消煙機能のレベルの高さに驚嘆

する声が聞かれた。全国から来場者が訪れ、廃プラ処理が可能な新型機に対する関心の高さを示した。同社では引き続き、鉄・非鉄金属リサイクル業者や製造業各社に向け、廃プラスチックの効率的な処理方法として新型焼却炉の活用を訴えていく考えだ。